



シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」④

「ともに、主体的に」
協働のまちづくり

NPO法人好きっちゃん北九州
理事長

いり かつ ます お
入門 真生氏



●まちをつくる・支える想い

ぼくたちのNPO法人では、『地域愛の育み』をテーマに、小地域での活動を支援しています。様々な地域の皆さんと活動をご一緒すると、そのまちの中で関わる方々が『想い』を資源として、まちづくりを進められているのを感じます。

地域活動や市民活動の多くは、無償ボランティアな活動が多く、携わる人それぞれの気持ちやモチベーションがとても重要な原動力となります。

●ともに、主体的に

そこで重要なことは『主体性』だと感じます。どのような活動でも、活発に実施していくには、主体的な人がいかに多くいるかが大切な要素だと思います。

例えば、一緒に取組む際に、頼む側と頼まれる側になってしまい、実は「手伝ってやっている」と思っていたり、「やらされ感」や「しぶしぶ感」があったりすることもありますよね。

上下関係のように実施内容を指示するのではなく、まずは課題を真ん中に置いて、横並びで見つめ、一緒に踏み出していくことが大切です。また、携わる人それぞれの活動目的となる気持ちを大切にすることで、『ともに主体的』な協働のまちづくりが進んでいくと思います。

●「がんばって」より「がんばろう」

双方とも頑張る人を鼓舞する言葉ではありますが、ほんのちょっとした語尾が違うだけで随分と違うものです。「がんばって」よりも「がんばろう」という言葉には、「一緒にやろう」というニュアンスを含んでいます。もし、一緒に作業などをしない場合でも、「見守ってるよ」「気持ちは寄り添っているよ」という感情が滲み出るものだと思います。

ともに向き合い、ともに進んでいく。「協働のまちづくり」の真髄のような言葉だと思います。ちょっとだけ意識して言葉にしてみると良いかもしれませんね。

ふくしのまちづくり講座実施校(地)区 調査報告(概要)

ふくしのまちづくり講座とは?

校(地)区単位で講座を開催し、参加者が改めて地域のことを学んだり、活動者との交流を行うことにより、地域福祉活動(ボランティア)への関心を高めてもらうことを目的としています。また、これらを通して、地域で活躍していただける新たなボランティアの発掘を図る講座となっています。

昨年度ふくしのまちづくり講座を実施した校(地)区にその後、地域の活動や人にどんな変化があったのか調査しました。以下はその抜粋です。

- ▶生活支援活動のお助け隊では、協力しあって活動を行い、適時活動についての見直しや活動者の勧誘も行うなど、地域が積極的に動き出した。
- ▶災害について、改めて考えるきっかけとなり、小地域福祉活動計画にも反映しようとしている。
- ▶防災の学びから、日頃からの地域でのつながりの重要性を再確認することができた。
- ▶地域課題及び課題解決のための活動について、校区社協役員や町内会役員・民生委員と話し合い、共有できたことで、次年度の小地域福祉活動計画策定への機運が高まった。
- ▶研修を受けたことで防災に関する住民の意識が高まり、社協の活動として、防災パトロールに新しく取り組むようになった。この活動を通して地域の連帯がより高まり、日頃のふれあいネットワーク活動にもつながっている。
- ▶地域生活支援活動の活性化に向けて参加者のモチベーションが上がった。地域活動者にも事業理解が深まり、運営への協力につながった。



▲二島校区社協研修風景



▲横代校区社協研修風景

講座の実施をきっかけに地域で話し合いの場や新たな活動が生まれ、校(地)区社協と自治会・民生委員・町内会など地域の団体とが連携して活動するようになり、より良いまちにしようとの住民の意識が高まってきている校(地)区も出ています。ボランティア大学校ではこれからも研修を通して、地域福祉活動を応援していきます。

オンラインセミナー
受講生募集
「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」
～「農業と福祉」から新しい地域共生社会の形を考える～

農福連携は、障害がある方などが、農業の分野で活躍することを通じて自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。

今回は、社会福祉法人による農福への取り組み事例を紹介し、新たな地域共生社会の在り方を考えるとともに、今後地域とのつながりの中で、農福と公益的取り組みがどう関わっていくのかについても探ってみたいと思います。



と き / 令和6年2月22日(木) 10時30分～12時 受講料 / 無料
定 員 / 30名 ※申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
対 象 / 社会福祉法人の代表者・実務担当者、協力団体など
(Zoomを使ってオンライン受講できる方) 事前予約制
申込方法 / 電話(☎881-6321)またはGoogleフォームでお申込ください。

申込締切 /
2月8日(木) 必着



研修レポート まちづくりゼミナール

講師:
北九州市ボランティア大学校
校長 久塚 純一

「まちづくりゼミナール」は主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。

今年度は3回にわたって「個人情報の取り扱いルールについてさまざまな課題をみんなで考えよう」をテーマに、校(地)区社協の見守り活動を行う上で必要な「基本台帳」や「会員名簿」の取り扱い方を介し、個人情報の取り扱いの難しさや問題点を講義やグループワークを通じて学びました。



参加者からは「個人情報取り扱いの大切さと留意点が理解できました。あわせて取り扱いや管理の難しさを感じました。」「個人情報に対して深く考えていなかった。今後は再度勉強しなおしてまちづくりの一助としたい。」との声をいただき、改めて、今後の個人情報取り扱いルールの形を考える講座となりました。まちづくりゼミナールがこれからも地域活動に役立つ学びの場となるよう企画してまいります。